

英語って実は簡単！？5つの文型をマスターしよう！！

◆英語ってとてもシンプルな言語だよ

Question

英語の文章って何種類全部であるでしょうか？

Answer : _____

主語=Subject 動詞=Verb

目的語=Object 補語=Complement

(修飾部：文の要素に含まれない語句=Modifier Part)

→例：時や場所などを表す前置詞以下の語句や、接続詞の中身。

第1文型 S+V (+M)

第2文型 S+V+C (+M)

第3文型 S+V+O (+M)

第4文型 S+V+O₁+O₂ (+M)

第5文型 S+V+O+C (+M)

◆実際に英文に記号を振ってみよう！

(例) Tom's father_ made a chair for him.

① Birds sing.

② The sun rises in the east.

※第1文型

「SはVする」

自動詞（あっそうとツッコミできる動詞のこと）が用いられる。

後ろに名詞がこない→前置詞などがくる

There is[are]+S+場所を表す語句も第1文型に属するので覚えておこう！

例： There is a library near my house.

③ I am very genius man all over the world.

④ Mary is sick in bed now.

※第2文型

be 動詞を用いた文章では「S は C である」というのが基本的な日本語訳。

S+V+C の文章では主語 S=補語 C が成り立つ。

→後で第3文型の文章と比較してみよう！

【補足】S+V+C で用いられる主な動詞

be(～である) look(～に見える) seem(～らしい、～のようだ) appear(～に見える)
become, get, grow, turn(～になる) feel(～に感じる) smell(～なにおいがする)
taste(～な味がする) sound(～に聞こえる) など。

⑤ He washes his car on Sundays.

※第3文型

「S は O を V する」

他動詞(何を?とツツコミできる動詞のこと)が用いられる。

後ろに名詞がくる→**目的語 O**がくる

→代名詞や動名詞など名詞の働きをするものもその役割を果たす。

⑥ Mr. Usui taught us Mathematics last year.

※第4文型

「S は O₁(人)に O₂(モノ)を V する」が基本的な日本語訳。

O₁のことを**間接目的語**、O₂のことを**直接目的語**という。

この文構造の場合、O₁≠O₂、つまり O₁と O₂のイコール関係(主述関係)は成り立たない。

S+V+O₁+O₂の文章を作ることができる動詞

(1) give(～を与える) lend(～を貸す) send(～を送る) show(～を示す、見せる)
teach(～を教える) tell(～をいう、話す) pay(～を支払う)

→第3文型に書き換えるときに前置詞 **to** を使う動詞群

(2) buy(～を買う) make(～を作る) cook(～を料理する) find(～を見つける)

→第3文型に書き換えるときに前置詞 **for** を使う動詞群

(3) ask(～を頼む)

→第3文型に書き換えるときに前置詞 **of** を使う動詞群

◆第4文型を第3文型に書き換えてみよう！

① I will buy him a nice present.

→

② Mr. Kobayashi sent me an e-mail last night.

→

③ May I ask you a favor?

→

⑦ My parents will make me a doctor.

⑧ You must always keep your room clean.

※第5文型

「SはOをCに(と、の状態に)Vする」が基本的な日本語訳。

この文構造の場合、補語Cは目的語Oにあたる人やモノの性質や状態を表す働きをする。

O=C、つまりOとCのイコール関係(主述関係)は成り立つ。

S+V+O+Cを作ることのできる主な動詞

make (OをCにする) keep (OをCにしておく) name (OをCと名付ける)

find (OをCだとわかる) leave (OをCのままにしておく) believe (OをCだと思う)

◆第4文型と第5文型の区別をしてみよう！

My father made me a pilot.

My father made me a new desk.

◆チャレンジ問題に挑戦してみよう！！

Facebook's popularity has grown exponentially over recent years, from 5.5 million active users in 2005 to around 500 million active users in 2011. Facebook allows users to create a profile where they can post information about themselves ranging from their occupation, to their religious and political views to their favorite movies and musicians. Further, Facebook also offers the facility to send private and public messages to other users and even engage in real time instant messaging. All of these features make Facebook broadly popular for online socializing. (2015 年度早稲田大学理系学部入試問題より抜粋)

◆総合的な英語力を身に着けていくために